

沢ガール祭♪♪♪登った！泳いだ！食べた！

二口 禿沢

吉岡

【日時】 2011年9月10日（土）～11日（日）

【メンバー】 L坂村、佐藤(里)、植島、三坂、佐貫、笹川、福永、吉岡

今回の沢ガール祭は、7月末に飯田橋のイタリアンレストランで開催されたToma婦人部の集いで話題にあがったのが発端であった。ワイン片手に山や沢等様々な話題と料理をつまみに盛り上がった女子トークで今回の計画が始動。直前に北沢さんが残念ながら参加できなくなったが、植島さんが加わり総勢8名の大所帯で行くこととなった。

9月10日（土）：曇り時々晴れ

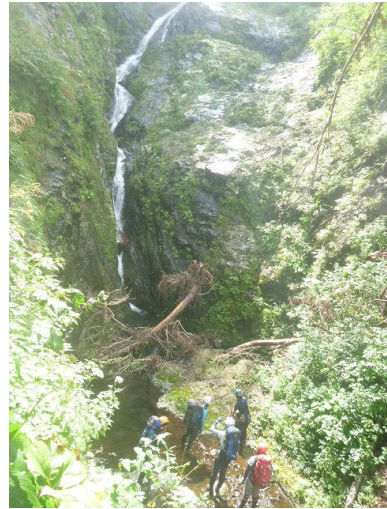
新宿/東京駅から仙台駅まで夜行バスで移動し、仙台駅からジャンボタクシーで二口林道ゲートまで移動した。仙台駅でのお迎えタクシーの運転手さんが持っていた案内紙には『沢ガール祭様』の文字が！この『沢ガール祭様』を手にシャイな運転手さんと記念撮影。思いもよらない応援に気分昂揚！この案内紙はもちろん頂戴して保管し、総会前夜でお披露目するかも。

二口林道のゲート前で降り、ここで身支度を整える。女子だけなので、堂々と開放的なお着替えタイムであった。出発前にI嵐氏から『山』ガールの定義として山スカを履くか七色以上でコーディネートしていることと教えてもらっていたが、今回のメンバーに沢スカを履く者おらず、グラデーションを認められれば、全員で七色以上のコーディネートであった。

林道を歩いて進み、右側に屈曲するカーブの辺りで入渓する。林道から眺め見える河床はナメが広がっている。入渓地点で『Gメン歩き』ポーズ記念撮影。ここで『Gメン歩き』について解説していただく。苔とブナ林の緑の中、ナメ歩きを楽しみ、少しゴーロが出てから8mのナメ滝が出現するが、ここは左岸側を高巻いて進み、その後も南沢出合まで長いナメ歩きを楽しむ。南沢出合の後、少しするとゴーロとなる。3m程度の小滝が続き全て直登。右手から鍋越沢の10mの滝が出現する地点で、禿沢の遡行方位はこれまでと変



わり南向きとなり、6mの滝が出現する。この滝は各々が右岸・左岸寄りを登る。この後も小滝が連続するが直登し、小松倉沢出合の後に8mの滝が出現する。滝上部に浮石が多いため、先頭の佐貫さんが危険な浮石を滝下に投げ込んでから、右岸寄りを登る。この後に続く3m程度の滝を登り、15mの直瀑が出現する。ここは右岸側を高巻き、銚子大滝前に下降する。足元が所々ガレていたが、木々が比較的しっかり根張りしており、ある程度信頼できる気がした。銚子大滝は左岸側を高巻いた。銚子大滝の後は沢幅が狭まり、ゴルジュとなる。深い瀬や小滝が続く。濡れたくないの、へつるが濡れずに済んだのは佐藤(里)さんのみ。最初から潔



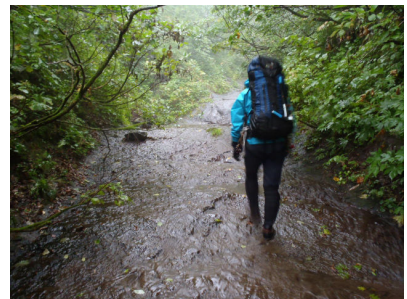
く泳いで進むメンバと、へつりを敢行するも失敗しズブ濡れとなる二組に分かれた。このゴルジュを抜けたところのブナ林にテン場を設営。雨が降りそうな曇り空の下、2枚のタープ配置に悪戦苦闘しつつ無事宴会場を設営し、宴会が始まった。



さて、女子の宴会は豪勢！賑やか♪華やか★≡である。メニューは次頁のとおり。夕食当番は福永さんと私であったが、佐貫さん、笹川さんという巨匠がいらっしゃるの、メインは軽くても良いだろうとタカを括って臨ませていただいた。つまみは嵐のように次々と出てくる。料理に合うお酒の選定や写真撮影、作り方を教えてもらったりと食べる・作る以外にも忙しい。五臓六腑に染み入る品々への感激が連続する。美味しい！今回の山行前の源太郎で佐貫さんが宣言していたという『つまみは野獣のごとく』。出てきましたよ！ステーキ肉がゴロリと！この宴会では新鮮野菜も食べられ、辛～甘、さっぱり系～粘り系～デザートも数種類食べられ、またそれに関連して料理方法を教わるのができ本当に充実した。

9月11日（日）：小雨のち曇り

昨夜から雨が降り続いていたため、計画していた小松原沢～神室岳と山形神室の間の鞍部に出るルートでは無く、禿沢をそのまま遡行し二口峠と山形神室岳の間の稜線に出るルートへと変更した。テン場周辺からもずっとナメが続く。4mのナメ滝の後、急勾配の坂となり、滑ることから右岸寄りを登る。安全かつ最短ルートを選定し稜線に出ると、2日目の遡行時間はたったの50分であった。ここから二口峠まで登山道を歩き、二口林道に出てゲート到着。ここからタクシーで秋保温泉：ばんじ家に移動し身体を磨き上げる。



今回は私含め、今年、沢にあまり行けていないメンバもいたが、沢を歩き、滝も登れ、

泳ぐこともでき、朝から晩まで非常に充実した山行であった。次はミニスカ集中だという声もあがっているけれど、ミニスカはともかくも来シーズンも沢ガール祭敢行です！

野獣の如くの宴会メニュー

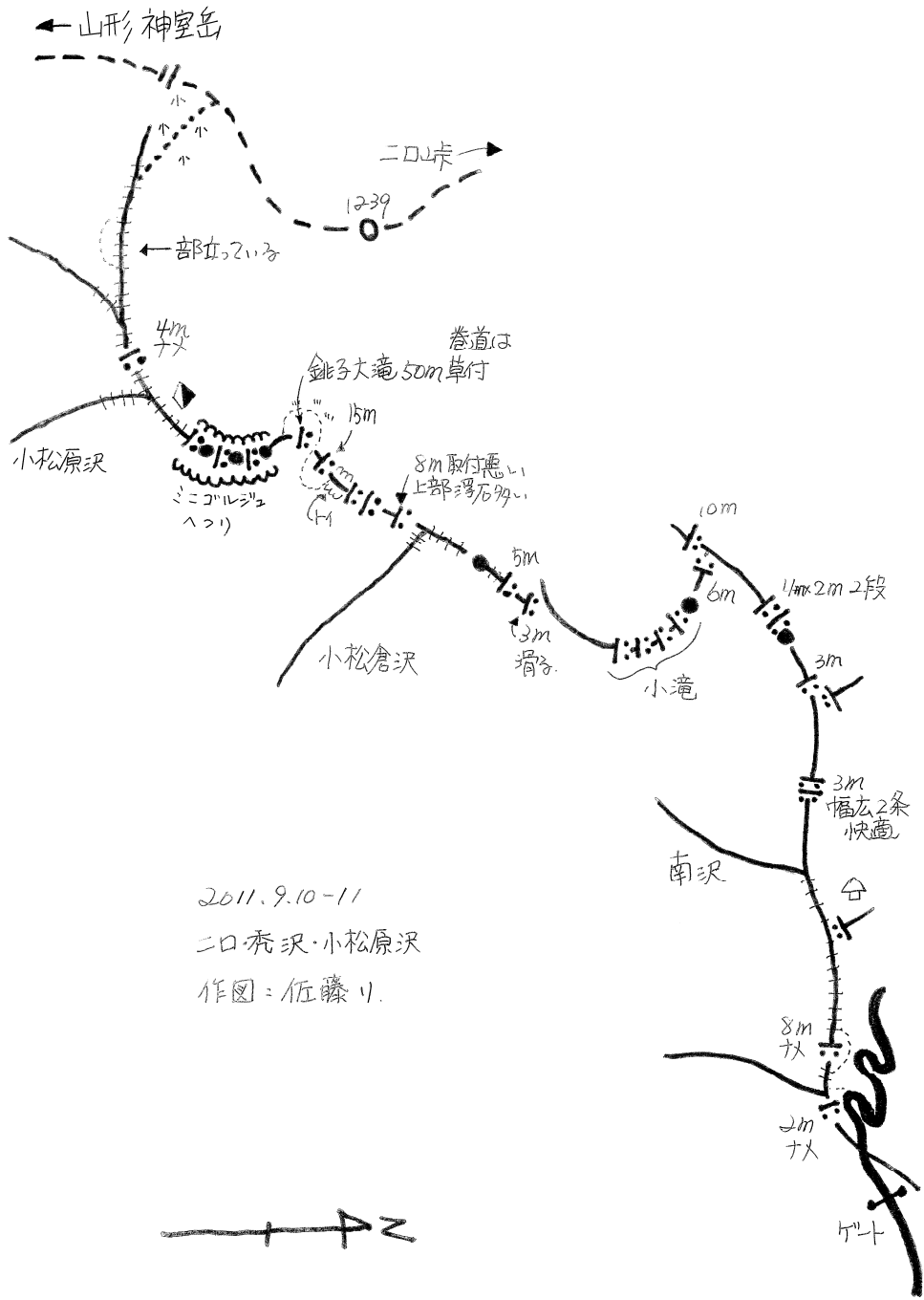
		
<p>オイルサーディン焼+クラッカー</p>	<p>焼ナス+焼ウィンナ</p>	<p>とうふのトマトソース煮</p>
		
<p>枴・とろろ昆布他ワサビ醤油和え</p>	<p>具だくさんのグラタン</p>	<p>よもぎ白玉のぜんざい</p>
		
<p>わらび餅・寒天ショコラ</p>	<p>焼きおにぎり（朝食用）</p>	<p>（最初の乾杯）</p>
<p><他>マッシュルームのアリオ・オリオ、牛肉味噌漬け・ピーマン添え、カマンベールチーズ焼き、メイプルシロップがけ、エリンギと雲仙豚の味噌炒め、ちくわの大葉チーズ巻き巻き、もちピザ、お好み焼き、豚キャベツのコンソメスープ、大根の浅漬け、コーヒーゼリー、焼マッシュマロ等々</p>		

【グレード】2級

【行程】9/10 二口林道ゲート(8:20)～入溪(8:25)～南沢出合(9:10)～小松倉沢出合(11:50)～銚子滝(12:45/13:00)～テン場(14:05)

9/11 テン場(7:05)～P1272とP1239の鞍部(7:58/8:10)～二口林道(9:35)～二口林道ゲート(10:35)

【地図】作並、山寺、今宿、笹谷峠



2011.9.10-11
 二口滝沢・小松原沢
 作図：佐藤リ.